

平成30年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	一般事務・団体支援業務及び施設管理業務
センター名	竜丘自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非通常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			紙の消費	×	×	×	×	×	—	
○			電気・LPガスの消費	×	—	×	—	×	—	
○			水の消費	×	—	—	—	×	—	
○			ガソリン・灯油の消費	×	—	—	—	×	—	
○			廃棄物の発生	×	—	—	×	—	—	
○			グリーン商品の購入	—	—	○	—	○	—	
○			施設の緑化	—	—	○	○	—	○	
○			河川美化活動の実施	—	○	—	○	—	○	
○			里山保全活動の実施	—	○	—	○	—	○	
○			ごみゼロ・クリーン運動の取組の展開	—	○	—	○	—	○	
○			環境家計簿による省エネ活動の推進	—	○	○	—	○	○	
○			芝生化・ガーデニング事業による景観整備への取組	—	—	○	—	—	○	
○			太陽光発電事業	—	—	○	—	○	○	
	○		公用車の廃棄	×	×	—	—	×	×	
		○	建物火災	×	×	—	—	—	×	
		○	フロン、灯油、LPガス漏れ	×	—	×	×	×	—	

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非通常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：—、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
特定家庭用機器再商品化法	テレビ、冷蔵庫の廃棄時の適正な処置の実施	—	
使用済み自動車の再資源化等に関する法律	リサイクル券の適正な保管及び廃棄時の適正な処置の実施	—	
竜丘地区基本構想	動植物の保護活動の推進	○	
竜丘地区基本構想	親水性の高い河川護岸の整備と里山の維持保全整備	○	
竜丘地区基本構想	シンボルフラワー・ツリー等による快適環境の創出	○	
竜丘地区基本構想	地域ぐるみによる不法投棄対策と美化活動の促進	○	
竜丘地区基本構想	リデュース・リユース・リサイクルの推進	○	
竜丘地区基本構想	家庭における環境家計簿の取組みの推進	○	
竜丘地区基本構想	良好な景観づくりへの参加促進	○	
竜丘地区基本構想	小水力発電の実証実験の導入	—	
竜丘地区基本構想	新川等における水力発電事業の復活	—	
竜丘地区基本構想	太陽光発電等の利用促進	○	

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：—で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	紙・電気等の消費、産業廃棄物の排出、火災の発生、灯油の流出、フロン類の漏出 住民の竜丘地区基本構想への興味低下や担い手不足によるまちづくりへの推進力の鈍化 水利権取得への合意形成の難しさを発端とした水力発電事業の未実施
機会 (プラス要素)	天竜川鷲流峡復活プロジェクトをきっかけとした住民自治の醸成と若年層の地域への参加と地域外への影響 太陽光発電事業による地域内の景観形成と住環境の整備 グリーン商品の購入、施設の緑化

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための 手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
				進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	天竜川鷲流峡の景観維持のため	天竜川鷲流峡復活PJによる 以下作業を実施する。 ①第1・第2第3エリアの維持 管理作業(約2ha) ②第2・第3期エリアの竹林伐 採作業(約2.5ha) ③ゴミ拾い作業(約4.5ha)	①維持管理作業 8回実施(小学生3 回、高校生1回参加) (4/21,4/27,4/30,5/9 、6/9,6/16、 7/11,7/12)	○		
	②	年度末までに					
	③	約4.5haを整備する					
2	①	太陽光の売電収益を活用し て	・ガーデニング事業で保育園 と連携し、遊休農地を活用し て、①チューリップの植栽・球 根掘り体験、②百日草やさつ まいもの苗植えと収穫体験 等を実施する。 ・保育園の園庭へ芝生を12 m ² 植栽と管理する。	・ガーデニング事業 ①園児によるチューリッ プ球根掘り体験(5月29 日) ②園児による百日草植 栽体験(6月26日) ・園庭の芝生化 園児による芝生植栽 体験(6月12日)	○		
	②	年度末までに					
	③	教育環境の充実と環境教 育を推進する					
3	①						
	②						
	③						